

慶応二年四月五日より慶応二年四月九日まで

P8310581 right

リキユール二瓶霜糖一本代金、明日石野(筑州)金港出張に付、久次へ達し方を頼む、牛込より巨鯛一尾

海老二尾鯉一重を拝領物賀として贈り来りし旨、欧行立替金等、御殿より三井を以届来る
(二百六十円余)

正覚稽古に来る、長蔵義、大小類小道具等持来り示す、保三来る広沢(悦)同心願の旨頼聞の文通持参、五郎来る、右兩人正覚一同酒飯を勧む

六日未 晴

松盛斎稽古に来る、茂(恒)、沢(錦)来る、共に不面、第十一時過、仏仮館斎海寺へ行き

(私眷へ□平一折贈遣す)ミニストル

等と此度替地の場所一見す、但先般御頼相成貨幣局図 並展視場招牌図(*)さし出す

出 殿右局図は和泉守殿へ御直に上る

七日申 晴乍陰午下漸晴

P8310581 left

広沢(悦)来る、元山(小■)来り面す、原田(昇)、宮原(寿)来る、共に辞して不面、宍戸(□)来る
前同断、出

殿、寺山小原来り、京地より便り有し旨、藤山より過日拝領物賀として小鯛三尾贈り来り□□二を遣せし旨、正覚抱屋敷の義に付、六敷来り、且金瓢目□を示す、藤山稽古に来る

八日酉 雲乍晴

宅調、登作金蔵辰弥へ袴一具づつ遣す、須崎より団子贈り来る、柳亭稽古に来る、新潟白石より過日の返書へカステラー一折添届く

九日戌 晴午下陰

長蔵来る、大小小道具類世話による、且書画帳表装繕ひ命しを託し遣す、内山桑野へ時服(*)残二二を分与す、岡本(亀)初て来り面す、出 殿、玄同殿御透有し、須崎(常)小品を持来りし旨、保三

*1:招牌図、看板の図案か?

*2:時服、朝廷や将軍よりある季節に賜る服

()内は細字双行(一行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。

【文字判読不可】、■は、文章の一部に汚れ、虫食いにより文字が無い等です。